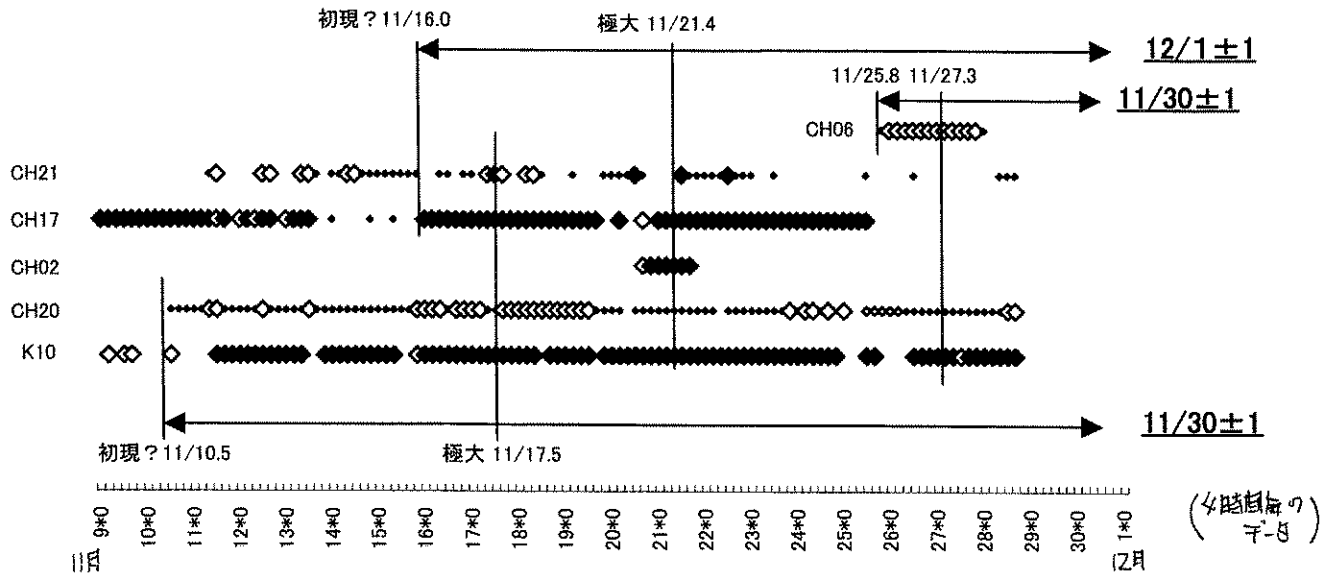


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続特殊前兆続報 現況報告



2008年07月より8年5ヶ月となる観測歴上最長継続特殊前兆 No.1778は、現在第21ステージ認識です。11/26 配信観測情報で報告のとおり、11/25 夜から八ヶ岳のCH06に特異状態が出現し、継続致しました。そのまま継続する場合には、現在推定されている第21ステージが示す11月30日±に極大が出現する可能性と、これに対する初現の可能性も考えられましたが、CH06の特異前兆は、本日11月28日の00時頃に終息し、既に16時間再出現は無く、正常基線を記録しています。このことから、CH06特異は初現でなく、極大であった可能性が示唆されます。

CH06特異出現の中心は、11月27.0日ですが、特異状態が一番顕著な時間帯は、11月27.3日です。初現11月25.8日に対応させますと、11月29日又は30日を示すことになります。

第21ステージが示す11月30日±直近の現在、継続する明確な前兆は、高知観測点のK10 と八ヶ岳南麓のCH20です。K10 は11月27日極大に関して出現した可能性もあります。仮にK10 が11月27日極大に関して出現しているとすれば、新規に初現認

識できる前兆は無いことになり、第21ステージが示している11月30日±に次ステージの極大が出現する可能性は考え難いこととなります。仮に11月30日に対応地震が発生する場合には、現在継続中のCH20及びK10 の前兆は、明日11月29日の午後14時±頃に終息する可能性があることとなります。

11月30日±が推定される状況ですが、誤差範囲で12月02日迄は可能性が否定できません。現在継続中の前兆が完全終息すれば、最終認識極大との関係でTmap:Tpp=3.9:1 経験則を使用し、発生日を特定できます。

本日～明日中に終息する可能性は十分ありますが、今夜以降前兆が顕著化出現する等の変化が現れた場合は、次ステージ極大の可能性も否定できませんので、注意して観測を続けます。

現状明日午後迄に前兆が終息する可能性もあり得ます。

※本続報はE-mailとFAX で日々配信しております地震前兆検知観測情報の一部を転載したものです。ご了承下さい。

作成時刻に対し実際の更新時刻が遅いのは、HP担当の方の仕事等の都合によるものです。お許し下さい。

明日以降の前兆終息又は継続等の続報もHP担当の方の都合で遅れる可能性もあり得ますので、現状可能性が否定できない11月29日～12月02日区間は念のため、ご注意ください。間に合えば続報を参照下さい。

明日以降の前兆終息又は継続等の続報もHP担当の方の都合で遅れる可能性もあり得ますので、現状可能性が否定できない11月29日～12月02日区間は念のため、ご注意ください。間に合えば続報を参照下さい。

- ◆推定領域：右図点線領域内付近＝大枠推定領域
大線領域内付近＝可能性考え易い推定領域
※岐阜県～福井県（石川県南部と滋賀県北部含む）
- ◆推定規模：M7.8±0.5
- ◆推定時期：11月29～30に前兆終息の場合は下記
現状考えやすい推定時期＝11月30日±1
(最大誤差＝12月2日迄)
(※12月01日時点で前兆継続の場合は再考し続報)
- ◇推定地震種：震源深さ30km以内の日本列島地殻地震
- ◇推定発生時刻：午前9時±1（又は午後6時±3）
(前震発生の場合は無効)

